

博物館だより



常設展「高岡ものがたり」入館3万人達成記念セミナー

当館では、平成21年9月13日に高岡開町400年を迎える日からちょうど300日前にあたる、昨年11月17日(月)に高岡開町400年「300日前イベント」を開催しました。

高岡の開祖・加賀前田家2代当主前田利長と3代前田利常の生涯を解説する講座「利長塾」をはじめ、常設展「高岡ものがたり」改装後、入館者が3万人に達成したことを記念して、3万人達成記念セミナーを行いました。

3万人目の入館者は、高岡市内の小学3年生・大崎翔太郎君と弟の小学1年生・真之介君でした。橋慶一郎高岡市長と「利長くん」(当館及び高岡開町400年記念キャラクター)から、花束と常設展ガイドブック、高岡開町400年記念グッズが贈られ、3万人の前後に入館した山本松昭さんと尾守悦子さんの両名にも記念グッズなどが贈られました。



利長くん



高岡開町400周年記念 収蔵品展「新資料展」

会期：平成21年2月7日(土)～5月10日(日)

博物館の重要な役割は、資料の「収集・保管」、「調査・研究」、「展示」、「教育普及」などが挙げられます。博物館では、「資料」を寄贈・購入などの方法により収集し、調査・整理して、日頃からその保存管理に努めています。ちなみに当館でいう「資料」とは、高岡を中心とした郷土の歴史・文化を語るうえで欠かせない貴重な文化財のことです。

博物館は郷土の歴史・文化の継承・発展のために日々活動を続けています。それは、貴重な資料を当館へ寄贈してくださる皆様のご協力があってはじめて成り立つことです。当館に貴重な資料をご寄贈賜りました皆様には、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

本展では、年々多く収蔵される資料のうち、近年新たに収蔵した資料や未公開の資料を展示・紹介します。ここではそのうちの幾つかを紹介いたします。

まず歴史資料では、「高岡開町三百年記念絵巻書」を紹介いたします。この絵巻書は、高岡開町三百年会が発行したもので、大正2年(1913)頃のものと思われます。高岡開町300年は、明治42年(1909)ですが、皇太子行啓の準備などで記念式典は行なわれませんでした。



「高岡開町三百年記念絵巻書」(大正2年)

その後、明治天皇の崩御などで延び延びになり、式典は大正2年9月に行なわれました。また、高岡駅前に洋風のアーチが建設されるなどの記念事業が行なわれ、市をあげて盛大に祝われたという記録が残されています。このほか、明治から昭和期の高岡市内の名所や旧跡を紹介した絵巻書や昭和26年(1951)に高岡古城公園で開催された博覧会の様子を描いた「高岡産業博覧会会場鳥瞰図」なども展示します。

民俗資料では「S W式自動電気炊飯器」(荒田みさを氏寄贈)を紹介いたします。本資料には、木製のおひつの中に金属板が貼り付けられており、側面の電気差込口から電気を取り入れ、その電熱が金属板に伝わり中に入れた米が炊けるという仕組みです。側面には「実用新案申請中/北陸配電推奨品」と刻まれたプレートが付いており、北陸配電(1942～1951)とは、現在の北陸電力株式会社の前身にあたります。日本(世界)初の電気炊飯器とされるのは、昭和30年(1955)の東芝製で、本資料は各家庭に普及している電気炊飯器の前身にあたりその歴史を窺い知る資料として大変貴重なものです。



「S W式自動電気炊飯器」(昭和18年頃)

このほか、火災時に炎に直接投げ込み、それにより容器中の消化液が飛び散り消火する手投げ消火器、計算尺(菱澄雄氏寄贈)、高岡市内の商店・飲食店・会社などの宣伝広告を兼ねて配布されたマッチ箱なども展示します。



手投げ消火器(昭和中期)

産業資料では、高岡銅器下図(荻野八弥氏寄贈)6点を紹介します。うち3点は富山県工芸会高岡部会が室崎間右衛門に与えた下図です。同会は、明治32年(1899)に銅器業界が図案の改良と普及・供給を目的に設置し、米沢三吉を専属デザイナーとして迎え、業者の求めに応じて低額で図案の調製を行なっていました。室崎間右衛門は高岡銅器問屋の一人で、高岡市木舟町に住んでいました。明治33年(1900)のフランス・パリおよび同38年のベルギー・リエージュでの万国博覧会などに作品を出品し、受賞しています。このほか、手動稲刈機(柴田慎也氏寄贈)、和田長次郎作の高岡欄間「竹に雀」(和田博司氏寄贈)なども展示します。

美術資料では、筏井竹の門筆「伏木の港」(大正8年。古谷昭史氏寄贈)を紹介いたします。本資料は墨画で、二上山を背景に伏木の港を行き交う船舶の帆が描かれています。筏井竹の門(1871～1925)は金沢出身の俳人・俳画家で、和歌もよくしました。明治25年(1892)に高岡に転居して以後、高岡の文芸の発展に大いに貢献しました。竹の門作品には「霞ヶ瀧」、ほか堀川敬周筆「虎溪三笑図」、米治一作「富士山図額面」、大橋二水書「聖寿万歳」(谷村重成氏寄贈)なども展示します。

このほかにも数多くの貴重な新資料を展示・紹介いたします。

山崎立山作「菖蒲文蒔絵文庫」1合

明治後期～昭和中期
縦33.2cm×横23.6cm×高10.8cm
漆・蒔絵
平成9年収蔵

表・裏全面に黒漆が塗られ、蓋表には菖蒲模様の蒔絵が施されている文庫。文庫とは書物や帳簿、手回りの品などを収納する箱のことである。全体に光沢があり、蓋表の左下には金泥の銘「立山」と白文方印「立山」(描き印)がある。

蒔絵は、漆工芸加飾法の代表的な技法の一つで、漆で模様を描き、乾かないうちに金・銀・錫などの粉や色粉を蒔き付けて文様を表現する技法である。

山崎立山(1895～1969)は、高岡市定塚町出身の漆芸家。本名は武雄。井上呉山・六角紫水両名に師事し、昭和14年(1939)以降、約30年間文展・日展を中心に活躍した。昭和20年代以降は、高岡美術工芸義塾の講師や高岡市立塗装技術指導所長を務めるなど、後進・業界の指導に大きく貢献した。



◆新収蔵資料紹介(平成21年1月31日現在)

購入 (16件84点)

No	資料名称	数量	分類
1.	「高岡産業博覧会会場鳥瞰図」(大浦彦一筆)	1	歴史
2.	富札「中田駅仕法講」	1	民俗
3.	射水郡堀岡村高品家資料	52	歴史
4.	「越中名勝案内」	1	歴史
5.	「ふしき」(伏木町の海上交易資料)	1	歴史
6.	「ふしき」(伏木町の町勢要覽)	1	歴史
7.	「大日本職業別明細図」(高岡市/伏木町・新湊町)	1	歴史
8.	海図(伏木・富山港)	1	歴史
9.	牡丹文彫刻菓子器(黒田義太郎作)	6	美術
10.	「霞ヶ瀧」(筏井竹の門筆)	1	美術
11.	「園分寺附近」(筏井竹の門筆)	1	美術
12.	書幅「七絶」(国泰寺59世・釈大眉筆)	1	美術
13.	書幅「五絶」(瑞龍寺18世・真藏圓常筆)	1	美術
14.	高岡関係絵巻書	12	歴史
15.	「旅客案内 高岡駅」	1	歴史
16.	絵巻書(公園ヨリ見たる高岡市全景・名物の隻山)	2	歴史

寄贈 (60件4,064点)

No	資料名称	数量	分類	寄贈者
1.	長崎医院薬袋	10	歴史	長崎圭爾氏
2.	金子為善堂小児薬「精的」小児丸	4	歴史	金子崇氏
3.	「S W式自動電気炊飯器」	1	民俗	荒田みさを氏
4.	シンシ(伸子)	183	民俗	〃
5.	「強力消火器」	1	民俗	匿名希望
6.	高岡御車山手拭い(曳山行列・御馬出町)	3	民俗	御馬出町自治会
7.	利屋町手拭い	1	民俗	匿名希望
8.	「手榴弾消火器」	8	民俗	(旧美術館備品)
9.	扁額「伏木の港」(筏井竹の門筆)	1	美術	古谷昭史氏
10.	「高岡市名所案内」	1	歴史	匿名希望
11.	高岡関係絵巻書	12	歴史	〃
12.	伏木地区絵図等資料	457	歴史	高野光子氏
13.	昭和刀 銘 川村正信(刻印「岡」)	1	歴史	北野知彦氏
14.	射水郡堀岡村煎茶家文書	90	歴史	高野健一氏
15.	農具各種	29	産業	中山武史氏
16.	高岡市市制100周年記念のぼり(ハンナ)	1	歴史	匿名希望
17.	タバコイレ・キセルイレ・キセル(煙草入れ・煙管入れ・煙管)	3	民俗	〃
18.	カミソリ(剃刀)	2	民俗	〃
19.	ゲートル(巻脚絆)	2	民俗	〃
20.	カメラ「オリンパス・オートアイ」	1	民俗	〃
21.	生型銅器 温度計付置時計「風風」	1	産業	〃

No	資料名称	数量	分類	寄贈者
22.	明治錦絵双六	5	民俗	吉野弘人氏
23.	「大日本俳優大見立」	1	民俗	〃
24.	炭火コンロ	1	民俗	大野武氏
25.	マッチ箱	2,780	民俗	〃
26.	漢文教科書	4	民俗	黒坂秀昭氏
27.	富山県主催一府八縣連合共進会記念写真結付名勝	1	歴史	匿名希望
28.	与謝野寛・晶子 詠歌色紙(複製)	1	歴史	〃
29.	ペントウバコ(弁当箱)	1	民俗	〃
30.	クラチョウチン(カナアミチョーチン)	1	民俗	〃
31.	ビール瓶	2	民俗	〃
32.	黒電話	1	民俗	〃
33.	両色灯	1	民俗	〃
34.	高岡市関係テレホンカード・ふみカード	26	民俗	〃
35.	伏木五十四景トランプ	54	民俗	〃
36.	カメラ「キャノン・ベリックス」	1	民俗	高田武男氏
37.	越中万葉かるた	200	民俗	匿名希望
38.	竹ストック	2	民俗	〃
39.	錠(獅子舞用)	1	民俗	〃
40.	单板スキー板	2	民俗	〃
41.	ビーダマ(ビー玉)	10	民俗	〃
42.	オハジキ(お弾き)	21	民俗	〃
43.	フジカラー「写ルンです(接近)」(レンズ付きフィルム)	1	民俗	〃
44.	トミカ車玩具「トヨタクラウンタクシー」	1	民俗	〃
45.	「行商必携手帳」(富山県売薬同業組合)	1	民俗	〃
46.	パーソナルワードプロセッサ「NEC文豪mini5G」	1	民俗	朝日勢津子氏
47.	モノサシ(物差)	2	民俗	匿名希望
48.	セキパン(石盤)	2	民俗	長谷川洋氏
49.	パーソナルワードプロセッサ「富士通ASIS40AP(複製)」	1	民俗	匿名希望
50.	土人形「ウツ」(於保多神社ウツ替え神事用)	3	民俗	於保多神社
51.	富士山図額面(米治一作)	1	美術	匿名希望
52.	高岡銅器下図	11	産業	荻野八弥氏
53.	中村家修業(卒業)証書類	103	歴史	匿名希望
54.	高岡産業博覧会案内	1	歴史	〃
55.	灯火管用電灯カバー	1	歴史	〃
56.	カーバイドランプ	3	民俗	寺畑喜彌氏
57.	ハエイヤス(蠅不入)	1	民俗	〃
58.	贈写版	1	民俗	(旧美術館備品)
59.	テカギ(手鉤)	1	産業	匿名希望
60.	扁額「思入文」(伊藤祐享筆)	1	美術	〃

<受人順>

郷土の歴史資料などの情報を求めています。

歴史資料や生活資料は、社会の変遷や興亡の足跡を理解する上での貴重な文化遺産です。当博物館では、古文書・生活資料などの収集保存を行い展示に生かしたいと思っております。情報がありましたら、是非ご提供をお願いいたします。

平成21年度 高岡市立博物館 行事予定

イベントスケジュール	
展示	イベント・講座
4月	4/1 常設展「高岡ものがたり」 楽しく知ろう！ひらめき・ミニシアター 11日 松聲庵 一掛待合で抹茶を楽しみませんか① 29日 ワークショップ 「切り紙でまぼろしの高岡城をつくろう！」
5月	5/10 収蔵品展
6月	13日 郷土学習講座① 「越中高岡城の縄張りについて」
7月	
8月	8/1 特別展 「前田利長が築城した高岡古城公園」 8日 宵間にさく高岡の怪談！ 一怪異譚のフォークローア 20日 たかおか歴史探検隊！ 「きみも1日学芸員になってみよう」 29日 特別講演会 「前田氏の越中進出から高岡築城まで」
9月	
10月	10/18 収蔵品展
11月	7日 松聲庵一掛待合で抹茶を楽しみませんか② 28日 郷土学習講座②「富山城からみた高岡城」
12月	
1月	
2月	2/6 収蔵品展
3月	6日 郷土学習講座③「もう一つの高岡城」 ～近代公園史からみた高岡古城公園～

◆平成21年度 郷土学習講座 「高岡の城を大いに語る」

- 佐伯 哲也氏（北陸城郭研究会会員）
・演題「越中高岡城の縄張りについて」
・日時 6月13日(土) 午後2時～3時30分
- 古川 知明氏（富山県教育委員会埋蔵文化財センター所長）
・演題「富山城から見た高岡城」
・日時 11月28日(土) 午後2時～3時30分
- 栗山 雅夫氏（高岡市教育委員会文化財課主任）
・演題「もう一つの高岡城」～近代公園史にみる高岡古城公園～
・日時 平成22年3月6日(土) 午後2時～3時30分

いずれも、
・会場 高岡市立博物館3階講堂
・定員 当日先着80名(事前申込不要)
・参加費 無料

◆高岡開町400年記念ワークショップ 「切り紙でまぼろしの高岡城をつくろう！」

高岡開町の祖・前田利長公や高岡古城公園に思いをはせながら、みなさん1人ひとりが考える高岡城を夢いっぱいを楽しみながら作ってみませんか。

- ・日時 平成21年4月29日(水・祝)
 - ・会場 高岡市立博物館3階講堂
 - ・講師 飛見 立郎氏(高岡市立博物館協議会 副会長)
 - ・対象 小・中学生
 - ・参加費 300円
 - ・持ち物 はさみ、色鉛筆
 - ・定員 20名(申込順)
- ※お申込は4月7日より電話にて受付します(電話0766-20-1572)



◆高岡開町400年記念 特別展「地図にみる高岡古城公園の400年」 平成21年8月1日(土)～10月18日(日)

高岡古城公園は、慶長14年(1609)に前田利長が築城した高岡城に始まります。高岡城は6年後の元和元年(1615)の「一国一城の令」により廃城となりますが、跡を引き継いだ前田利常の功績により、広大な水濠と曲輪(土塁)は温存され、米や塩などの蔵に活用されました。明治初期には民間へ払下げられ、破壊の危機を迎えますが、高岡の由緒町人・服部嘉十郎らの尽力により公園として指定され、現在でも多くの市民の方々に親しまれています。

本展では、高岡古城公園の波乱に満ちた400年にわたる歴史を、地図(絵図)を中心に写真資料などもあわせて展示・紹介します。



○特別講演会

- ・日時 平成21年8月29日(土) 午後2時～3時30分
- ・演題 「前田氏の越中進出から高岡築城まで」
- ・講師 高岡 徹氏(とやま歴史的環境づくり研究会代表)
- ・会場 高岡市立博物館3階講堂
- ・定員 当日先着80名(事前申込不要)
- ・参加費 無料

— 開館時間 —
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

— 休館日 —
・月曜日
(国民の祝日の場合はその翌平日)
・年末年始
(12/29～1/3)

— 交通 —
JR高岡駅より
徒歩15分

— 入館無料 —